



鳥取を愛するパワーを市政に!!

太田 ゆかり

市民の
縁がわ

後援会のしおり

歩む 市民の縁がわ 太田 ゆかり

昭和38年3月、太田順敏^{のぶひさ}・千世子^{ちせこ}の第二子長女として鳥取市に生まれる。(兄順康^{よりやす}(昭和35年生まれ)、弟順就^{じゅんじゅ}(昭和44年生まれ)の3兄弟)

祖父・太田義人(よしと・剣道範士九段)のもと幼少のころから竹刀を握る。そのかわら伯母・太田瑛子(てるこ・華道教授)の影響で華道・茶道をたしなむ。小学生でガールスカウト入団。中学・高校生ではソフトテニス部。なぎなた競技で「くにびき国体」を皮切りに、全国入賞。1987年米国なぎなた連盟訪問、鳥取県スポーツ敢闘賞ほか受賞。1993年なぎなた錬士を授与される。指導者としても数々の大会入賞者を育てている。



【経歴】

- ・鳥取県立鳥取西高等学校附属久松幼稚園
- ・鳥取市立久松小学校
- ・鳥取市立北中学校
- ・鳥取県立鳥取西高等学校
- ・武庫川女子大学短期大学部卒業
- ・有限会社「和光武道具」
- ・鳥取市議会議員

※ NPO市民文化財ネットワーク鳥取 事務局長 / 一般財団法人「尚徳会」 理事 / 鳥取市なぎなた協会 理事長 / 鳥取更生保護女性会 理事 / 浩の会 会員(ボランティア団体) / 鳥取ユネスコ協会 会員 / 郡山友の会 会員 / 長田神社 総代 / 東町1丁目自主防災会 委員

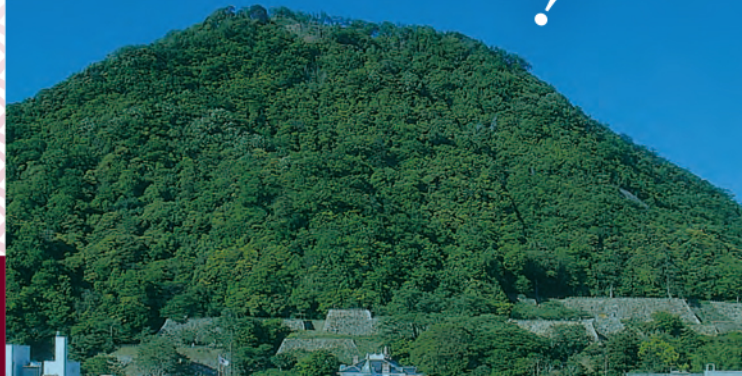
※「旧岡崎部」保存運動など鳥取の歴史文化遺産を活用し、うるおいのあるまちづくりを目指す市民団体

太田ゆかりの3期12年目になる市議会議員活動で、歴史文化を尊重したまちづくり先人の知恵を活かした防災などが反映され、市政策が確実に変わってきました。



鳥取には美しい山・農・漁村風景と数多くの歴史文化遺産があります。それらには、鳥取の人々が安全に快適に住むために加えた様々な工夫が積み重なっています。異常気象にパンデミック(感染症の世界的大流行)が重なり日本にも猛威を奮っています。一方で地球環境は大きく変化し、リモート社会が取り入れられて生活様式も変化している中で、「SDGs」が唱えられ、地域資源を活かした古くからの暮らしが見直されています。森林・自然を活用してきた鳥取の歴史的な技術に、新しい現代の知恵を加えて鳥取の地場産業を地元の力で育てていくことで、鳥取に本当の豊かさを添えていきましょう。

古今の知恵で、鳥取を 活力にあふれるまちに!



太田ゆかりホームページ
三次元バーコードをスマートフォン等で読み取ると太田ゆかりの詳細情報が見られます。

太田ゆかり後援会事務所

〒680-0011 鳥取市東町1丁目127番地
☎090-2257-1080
Eメール info@engawa-yukari.com

縁がわ宣言 太田ゆかり 5つの柱

太田ゆかりが目指すのは「市民が主役の鳥取市」です。市民が主体で地域資源と先人の知恵を活かし、城下町の趣を活かしたまちづくり、産業振興、防災対策の強化、子育て支援、健康な日常生活の充実、ユニバーサル社会の実現などと共に公共交通網の接続性向上、社会生活の利便性を向上し、市民が住み続けたいくなる潤いのある鳥取市をつくりまします。

一 主役は市民！現場主義

大切にするのは「先ず現場に駆けつける」「現場の声を聞く」「ともに動く」の3つです。市政では、事実と市民のみなさんの声にもとづく議論を徹底し政策の実現をはかりまします。



二 先人に学んだ防災対策

激甚化する災害、先人の知恵に学び災害時の問題を洗い出し強靱な防災計画を進めます。歴史的な裏付けのある、環境に適した防災対策で安全で快適なまち・鳥取市にします。



暴れ川千代川からまちを守るために江戸時代につくられた袋川は今も人々を水害から護っています。

三 健康な日常生活の充実

スポーツと武道を通じ健康で明るい豊かな心と思いやりのある子どもを育てる教育を推進。身体機能の維持向上による健康維持、生涯・障害スポーツの振興と競技力の向上も目指します。



四 産業活力を高め 地域を豊かに

地元企業・事業主が地域に誇りを持って働いてこそ鳥取の街が元気になります。産業区分を越えた異業種連携を深め、地域全体の地場産業の発展、伝統技術・技法の活用・継承により鳥取を世界に誇れる豊かな町にします。



五 公共交通がつくる市民に便利なまち

現在の公共交通を活かし、鉄道駅と道路網をつなぐよう交通体系を整備することで市民生活の利便性が大きく高まります。交通を、暮らしから経済や観光振興まで担う真の社会基盤とします。

